

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
3 年 第 1 0 号	3. 6. 1 0	<p>パンデミックに潜在看護師を活用すべきと国に意見書を提出することに関する陳情</p> <p>国内には、潜在看護師が約 70 万人いる。このため、都道府県単位で、自衛隊の即応予備自衛官制度を参考にした、新組織を創設することを求める。又即応予備自衛官制度の中に重要な 5 項目（役割、応招義務、教育訓練、採用対象者、処遇）がある。</p> <p>この 5 項目の中の応招義務は保健師助産師看護師法の制度では、看護師には応招義務はない。新組織を創設にあたり考慮すべき点である。</p> <p>今後再び起きうる自然災害、パンデミックに対応する為、都道府県単位の新組織の制度設計を早急に行うように。よって、下記事項を陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 茨城県議会において、パンデミックに潜在看護師を活用するため、自衛隊即応予備自衛官制度を参考とした、都道府県単位の新組織を求める意見書を厚生労働省に提出すること。</p>	<p>社会の歪を鋭く追及 政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」</p> <p>代表 加藤 克助</p>	保健福祉 医療